

6.環境教育と情報公開

社員一人ひとりの環境意識の向上を図るとともに
環境活動や製品の環境配慮対応の状況を広く社会に公開しています。

Highlight 2009

カラーユニバーサルデザインの採用

理想科学では、「読みやすく、わかりやすい環境経営報告書」をめざして制作しています。この一環として、「環境経営報告書2010」では、読みやすさ、わかりやすさへの配慮から、カラーユニバーサルデザインを取り入れて制作しました。



環境教育

一般教育から専門教育まで
幅広い教育プログラムを整備

当社は、社員一人ひとりの環境意識の向上と環境保全活動の実践につなげることを目的とした一般環境教育から、内部監査員教育やEMS外部資格教育・研修などの専門教育まで、幅広いプログラムを整備して教育・研修を行っています。

また、環境方針や部門の取り組み状況を社員が目にする機会が多い事業所や部署内の共通掲示板に掲示したり、全社で共有すべきデータや環境目的・目標の進捗状況を社内イントラネットに掲示して周知を図るなど日常的な啓発活動にも注力しています。

2009年度は、新入社員、中途採用社員、未受講者の140名を対象に、eラーニング形式の一般環境教育をはじめ、内部監査員教育や業務に直結する研修を実施しました。

環境関連教育実施内容(2009年度)

研修(教育)の種類	回数(回)	延べ人数(名)	延べ時間(名・時間)
一般環境教育(eラーニング)	1	143	214.5
一般環境教育	21	706	662.5
内部監査員教育	6	96	628.6
EMS外部資格教育・研修	4	4	28
EMSレベルアップ教育・研修	2	11	13
EMS活動(ゴミの分別等)教育	11	324	287
事故・緊急時訓練	18	195	182
防災訓練	5	730	808.7
法的資格講習	3	15	15
業務レベルアップ教育・研修	6	100	500
業務関連技能講習	31	87	280
安全・衛生向上教育	4	30	23.5
合計	112	2,441	3,642.8

集計範囲：日本国内の事業所で実施している環境に関わる教育・研修を抽出し集計しています。

情報公開

環境コミュニケーションを充実

当社は、環境活動状況を積極的に公開し、お客様、社員をはじめとしたステークホルダーの皆様からのご意見・ご要望を環境負荷の低減に生かしていきたいと考えています。

環境経営報告書の発行

2001年4月に「製品環境報告書」を発行し、2004年8月より環境への取り組み、社会的な取り組みを紹介する報告書を年次で発行しています。また2008年度からは、より広く当社の活動を紹介するために、環境経営報告書の英語版(PDFファイル形式のみ)の発行も開始しました。

環境経営報告書は、当社のWebサイト上にPDFファイル形式で公開しています。



Webサイト「環境への取り組み」上での情報開示

当社のWebサイト上で、環境への取り組みを紹介しています。環境マネジメントやパフォーマンス情報のほか、環境ラベル適合製品や当社の環境活動の歩みなども掲載しています。



日本語版 <http://www.riso.co.jp/eco/>
英語版 <http://www.riso.co.jp/english/eco/>

TOPICS 「環境経営報告書2009」
社員アンケートの実施

当社は、環境活動の改善や環境報告書の充実を図るために、環境経営報告書の読者の方にアンケートへのご協力をお願いしています。2009年度版では、初の試みとして、外部読者の方へのアンケートに加えて社員アンケートを実施しました。その結果、1,300名のアンケート対象者の内、約1,000名(約77%)から回答を得ました。収集した意見を参考に、今後も報告書の改善・拡充に努めていきます。

意見(アンケート抜粋、一部編集)

- ・「文字が多く、とっつきにくい」
- ・「色覚特性の違いに対する配慮が弱い」

対応

- ・「環境保全活動」の各ページにおいては、図や表を活用し、文字量を少なくすることを心がけました。
- ・カラーユニバーサルデザインを取り入れました。

製品と環境ラベル

環境ラベルの取得・情報開示を積極的に推進

当社は、製品における環境配慮がますます求められることを踏まえ、製品の環境ラベルの取得ならびに情報開示を積極的に進めています。

日本国内の製品についてはグリーン購入法^{解説1}、エコマーク^{解説2}、国際エネルギースタープログラム^{解説3}などに適合した製品を提供しています。当社製品の環境ラベルに関する情報は、当社のWebサイトのほか、省エネルギーセンター、グリーン購入法特定調達物品情報提供システム、(財)日本環境協会エコマーク事務局、GPNデータベース、グリーンステーションなどのWebサイトおよびエコマーク商品カタログなどに掲載されています。

海外の製品についても、国際エネルギースタープログラムをはじめ中国環境ラベル^{解説4}、台湾グリーンマーク^{解説4}などに適合した製品を提供しています。2009年度は新たにデジタル印刷機「KS850C」「EV2/3/5シリーズ」が中国環境ラベルI型の適合認証を受けました。

環境ラベル等と適合品の一例

	製品	環境ラベル等
日本国内向け製品	オルフィスXシリーズ	グリーン購入法適合 Eco-Design ENERGY STAR
	リソグラフMDシリーズ	グリーン購入法適合 ENERGY STAR
	リソグラフRZシリーズ	グリーン購入法適合 Eco-Design ENERGY STAR
海外向け製品	EZ/RZシリーズ	台湾グリーンマーク ENERGY STAR
	KS/EVシリーズ	中国環境ラベル

写真は代表機種を掲載

解説1 グリーン購入法

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律の通称。国等の機関が重点的に調達を推進する環境に配慮した特定調達品目及びその判断基準が制定されています。

解説2 エコマーク

「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。制度の運営は(財)日本環境協会が行っています。

解説3 国際エネルギースタープログラム

世界7か国・地域で実施されているオフィス機器の国際的省エネルギー制度です。製品の稼働、スリープ、オフ時の消費電力などについて、省エネ性能の優れた上位25%の製品が適合となるように基準が設定され、この基準を満たす製品に「国際エネルギースターロゴ」の表示が認められています。(ECCJのWebサイトより)

解説4 台湾グリーンマーク

「台湾グリーンマーク」は、日本のエコマークに相当するもので、1992年に行政院環境保護署(環境省)から委託された環境開発基金(EDF: Environment and Development Foundation)の運営によりスタートした、タイプI(第三者機関による認定)環境ラベルです。